

日本赤十字社 総合福祉センター レクロス広尾

- 介護老人保健施設
- 通所リハビリテーション
- 特別養護老人ホーム
- 通所介護
- 障害者支援施設(入居)
- グループホーム
- 居宅介護支援事業所



日本赤十字社

Japanese Red Cross Society

日本赤十字社 総合福祉センター レクロス広尾 センター全体紹介 (老健・通リハ・特養・通所介護・障害共通)

- 開設 : 平成24年4月
- 事業所 : 介護老人保健施設、通所リハビリテーション、特別養護老人ホーム、通所介護、障害者支援施設、グループホーム、居宅介護支援事業所
- スローガン : 『あなたの思いを実現します』に則り、対象者の意思決定を尊重しつつ、自立・自律を支援することを目標に、多職種協働して『生活リハビリ』を推進し、生活の場でのリハビリテーションに取り組んでいます。
- リハビリテーション職員 : PT5名、OT4名(20代～60代)
- リハ職員専門領域 : 整形、呼吸器、循環器、脳血管疾患、神経難病、認知症、シーティング、福祉用具、地域リハ等
- 保有資格 : 厚生労働省指定臨床実習指導者研修、保健医療学修士、地域リハビリテーション専門人材育成研修アドバンス研修、生活行為向上マネジメント研修、ハンドセラピー基礎研修、住環境コーディネーター2級、学習療法士1級、シーティングコンサルタントベーシック講習、環境適応全課程、基礎運動学ベーシックコース、キネシオテーピング等。『地域包括リハビリテーション実践マニュアル』一部執筆。
- 学会発表等 : 全国PTOT学会、東京都OT学会、
- 外部業務 : 東京都作業療法士会代議員、東京都作業療法士会ブロック委員、区障害区分審査会審査委員、学会実行委員、区リハ連絡会等



当施設勤務条件の特徴と新人教育制度

1. 休日(土日祝)・就業時間(8:30-17:00)

- 基本的には土日祝日休みの為、PTOT全国協会・都士会主催、その他研修に1年目から参加しやすく、年に1回程度の研修参加費もサポートします。
また、勤務時間も終業が17:00と早いため、平日夜間に行われる外部研修等にも参加が出来ます(1回/月程度の日直・宿直はあり)。
- 平日終業17:00と早く、有休取得もしやすいため、プライベートも大切にしたいワークライフバランスを充実させることが可能です。年に一度程度の長期休暇取得も推奨しています(年間休日約121日・初年度から有休20日)

2. PTOTとともに急性期の基礎から丁寧に指導します

- 新人教育では、経験豊富なスタッフがビジネスマナー、PTOTの基礎、生活期リハ・地域リハはもちろん、急性期・回復期の知識・技術も必須の為、一から丁寧に指導します。

3. 地域リハ・急性期～生活期・終末期、様々な疾患を学べる環境

- 生活期分野の施設であるが、地域リハビリテーションはもちろん、日赤医療センターが隣接しており、急性期・回復期の対象者も多数。そして、生活期～終末期(看取り)まで学べます。
また、疾患も様々で幅広い知識とスキルの習得が可能です。

4. 施設内研修制度

- 全職種共通研修 ●事業所ごとのカンファレンス ●各種委員会研修会 ●リハ係内伝達講習 ●リハ係内事例検討会 ●日赤内研修

5. 施設外研修・学会参加、学会発表の推奨

- PTOT学会 ●東京都士会学会 ●摂食嚥下学会等

6. 外部・周辺施設とのつながり強化

- 都士会ブロック委員や区の様々な審査会メンバー、渋谷区リハビリテーション連絡会等

7. 働きながらの進学も可能(学位取得等)

- 働きながら、さらに高度な知識・学位取得のための進学をしている職員が多数います。平日終業後の通学も可能です。

日本赤十字社 総合福祉センター レクロス広尾 リハビリテーション係（全体）紹介 （老健・通りハ・特養・通所介護・障害共通）

リハビリテーション課基本理念

私たちは日本赤十字社の基本原則に則り、ご本人が安心安全にいきいきとした生活が送れるよう支援します。

また、対象者の立場に立ち、良質かつ安心安全で個々の状態に合わせたリハビリテーションの提供を行い、

ご本人の尊厳が尊重された状態への復帰を目指します。

この他にも医療や保健、福祉及び生活に関わるあらゆる人々や機関・組織が協力し合い、それぞれのご利用者様の状態に応じて適切なサービスが継続できる体制作りをリハビリテーションの立場からサポートします。

1. 身体面

リハビリ専門職員が個別評価をもとに計画書を作成し、生活リハビリを中心に機能訓練や自主トレーニングを提供することで、実際の生活に必要な筋力、関節の動き、心肺機能などの低下を予防すると共に体力の維持、増進を図ります。

2. 日常生活活動

食事、更衣、排泄、入浴など、実際の生活に必要な動作について、個々の能力に合った適切な動作方法・介護の方法を訓練・指導するとともに、多職種と協働して規則正しい生活リズムの獲得を支援する生活リハビリの提供に努めます。

3. 心理面

心身の機能低下や、それに伴う不安を和らげ、心理的安定を促すとともに、生活に対する意欲等の精神活動の活性化を図ります。また、認知症を含めた様々な知的・精神機能の障害にも対応し、その方の尊厳が尊重された、安心して安全な、生活環境への復帰を目指します。

4. “生きがい” への支援

ご本人の意思を尊重した上で個々の生活環境や経験をいかした趣味活動や自己表現の機会をもつことにより、生きがいの再獲得を図り、自発的な生活が送れるよう促します。

5. 社会的側面

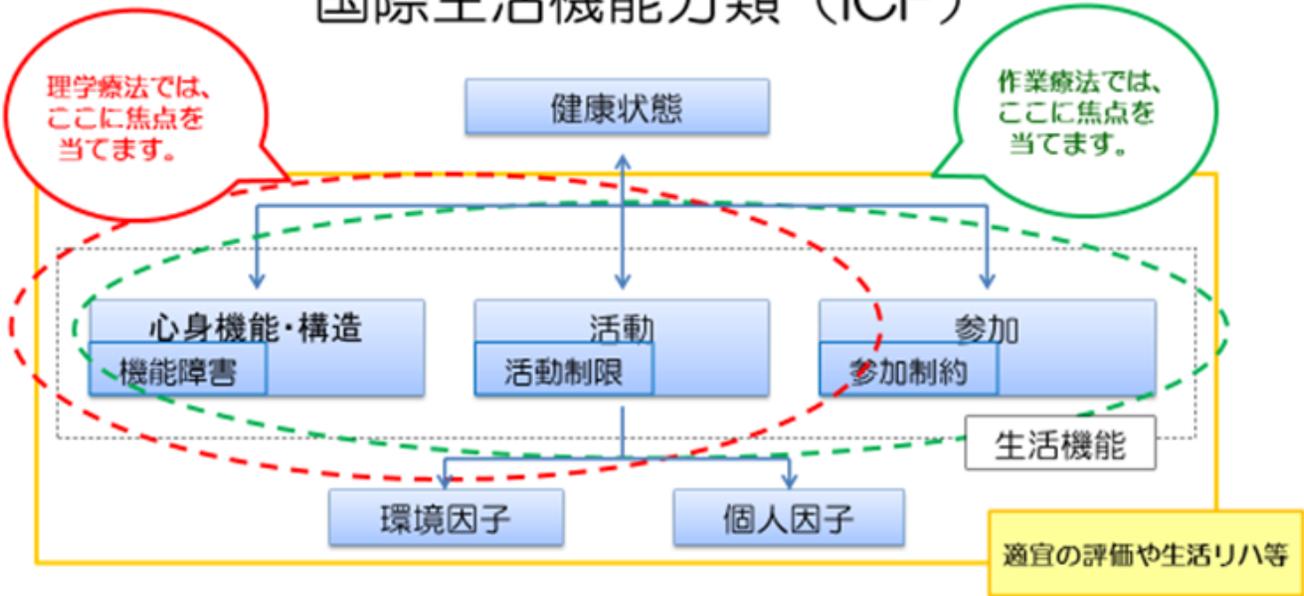
グループ活動や行事など他者との交流の場を提供し、対人交流を促すことで社会交流能力の向上を図り、集団の中での役割意識の再獲得も促します。また、ご家族様との交流も図り、ご家族様の体制作り・心理面のサポートにも努めます。

6. 環境設定

住環境の設定や調整に加え、装具や車いす・杖などの補装具選定や調整にも対応します。

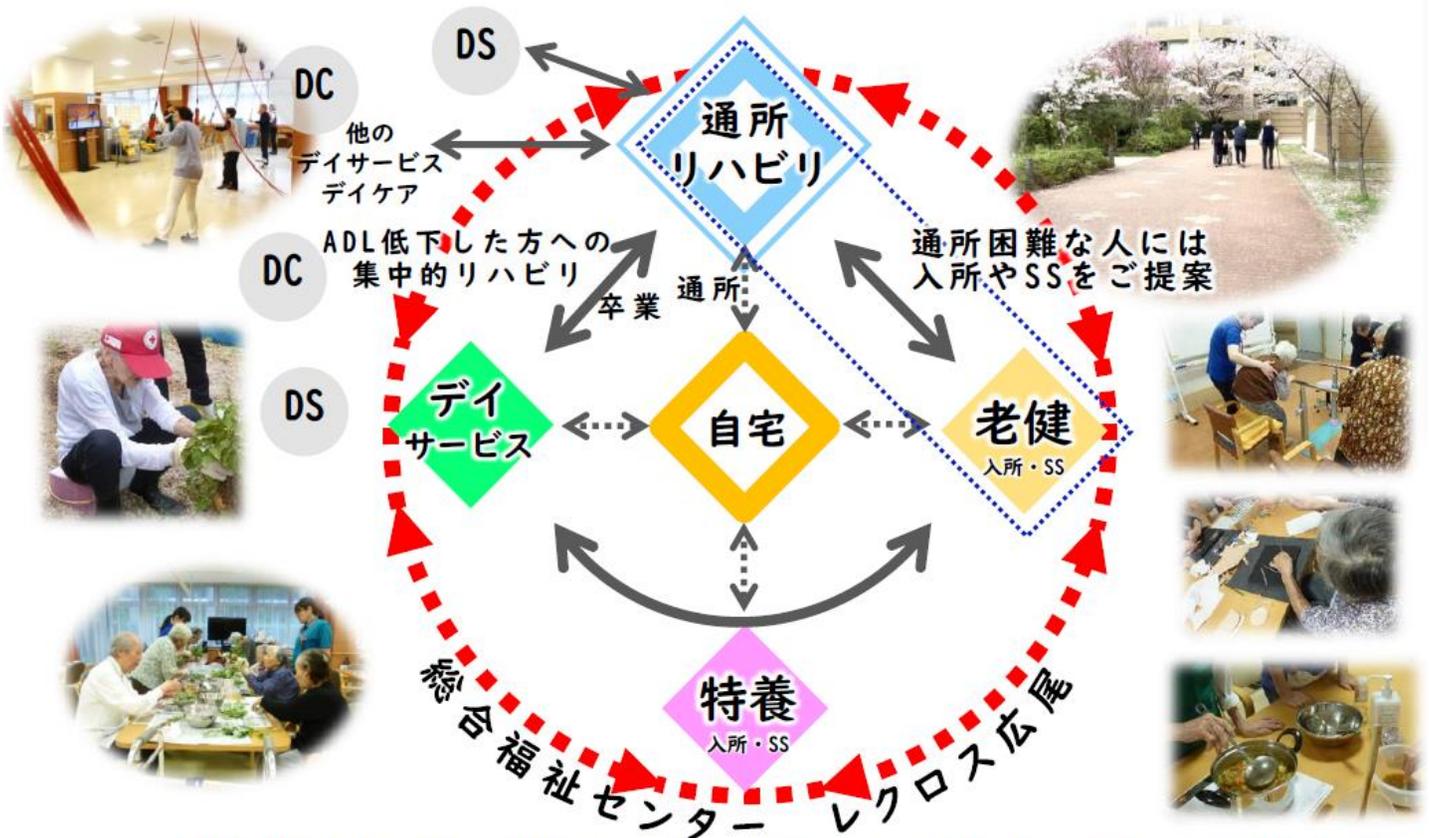
当施設のリハの特徴(生活期リハ)

国際生活機能分類 (ICF)



人が生きていくための機能全体を「生活機能」としてとらえ、

- ①体の動きや精神の働きである「心身機能」
 - ②ADL・家事・職業能力や屋外歩行といった生活行為全般である「活動」
 - ③家庭や社会生活で役割を果たす「参加」
- の3つの構成要素からなる



介護保険分野で通所リハビリやデイサービスなどの通所サービスから、老人保健施設・特別養護老人ホームもあり、地域包括ケアシステムを実現する為のサービスを提供しています。

在宅復帰に向けたリハビリだけでなく、活動・参加を目的としたプログラムの実施、全ての事業所でリハビリテーションマネジメントを意識した介入をしています。

●対面・オンライン見学も
随時受け付けております。

●遠方の方に関しては、採
用試験の方法もご相談くだ
さい。

●不明点・疑問点があれば、
お気軽にお問合せ下さい。

〒150-0012

東京都渋谷区広尾4-1-23

TEL：03-6861-4800(代表)

FAX：03-6861-4810

E-MAIL：

kikaku@hiroo.jrc.or.jp

採用担当：

健康支援課 渡邊

企画調整課 亀井

アクセス：

●東京メトロ日比谷線広尾駅4番出口

日赤医療センター側下車 徒歩7分

●渋谷駅・恵比寿駅下車、都バス医療

センター行きバス15分、終点下車すぐ



日本赤十字社

Japanese Red Cross Society